

学年	教科等	題材(議題)名	日時
第3学年	学級活動	4年生に向けて	令和3年2月10日(水)2校時
研究内容1の手立て 課題を自分事として捉えさせるための手立て	<p>① 導入において、この1年間で3年3組の「にじのこ」がどれくらい伸びたかを問い、その「にじのこ」を一人一人に絵で描かせる。この「にじのこ」の長さが、それぞれが感じている本学級の成長具合を表すことになる。全員に描かせることで、一人一人が学級の現状をふりかえることができるようにする。</p> <p>② 数名の子どもを指名し、自分が描いた「にじのこ」を黒板に描かせ、長さの理由を問うことで、一人一人の感じ方の違いを視覚的に捉えさせるとともに、まだ成長の余地があると感じている仲間がいることを認識させ、「もっと3年3組の『にじのこ』を伸ばすために、できることを考えよう。」という本時のめあてへとつなぐことができるようにする。</p>		
研究内容2の手立て 事後の活動の充実	<p>① 本時で話し合ったことのなかから、「続けていきたいこと」「頑張りたいこと」を選び、実践カードに記入させる。</p> <p>② 目標の達成状況を1週間ごとにふりかえらせることで、目標を常に意識したり、現状に応じて見直したりすることができるようにする。また、ふりかえり後には、教師からの頑張りを認めるコメントに加え、保護者からも激励のコメントをもらうようにする。</p> <p>③ 教室背面に「4年生に向けて伸びよ!『にじのこ』たち!」のコーナーを設置し、ふりかえりごとに目標を達成した子どもの人数分の『にじのこ』シールを貼るようにすることで、子どもの実践意欲を高められるようにする。</p>		

本校では、各学級年度初めに子どもとともに学級のシンボル(学級目標)を決定します。本学級のシンボル(学級目標)は「にじのこ」です。にじのように一人一人がそれぞれの色で輝きながら、たけのこのようにぐんぐん伸びていこうという願いが込められています。

おそらく、どの学校のどの学級でも学級目標を子どもとともに考え、設定されていることと思います。本授業は、学級活動(3)において、学級目標を生かして子どもに理想とする自分をイメージさせ、自分たちの現状の課題を捉えさせ、今できることを意思決定させていく、ということはどうできないかと考え提案した授業です。

### (1) 研究内容1「課題を自分事として捉えさせるための手立て」について

#### ～「つかむ」段階における手立て～

学習プリントに、学級のシンボル「にじのこ」がどれくらい成長したのかを絵で描かせました。はじめは、チャートのようなもので学級の成長具合を%のようなもので把握させようと考えていました。しかし、第3学年という発達段階や、学級目標との兼ね合いを考慮して、にじのこの絵の伸びを描かせることで、自分たちの現状を把握させようと考えました。

3年3組のにじのこは  
どこまで育っているだろうか?  
ほとんどのにじのこは、どれくらい成長したか、横に絵で表してみよう

2月

もっと成長できるという期待

まだ成長できるという期待

3年3組のにじのこは  
どこまで育っているだろうか?  
ほとんどのにじのこは、どれくらい成長したか、横に絵で表してみよう

みんなまだ3年3組のにじのこが成長できていると思っているよだね。もっとクラスのにじのこを成長させていくためにできることを考えていこう。

本時のめあてへ

一人一人のにじのこを描かせることで、全員が学級の現状と向き合うことができました。また、絵を描かせるという手立ては、子どもに自分たちの現状を視覚的にも把握させるうえで有効であったと考えています。

学級活動(3)では、学級活動(2)とは異なり、「将来」の理想とする自分の姿に向けて、今を見つめ、できることを考えていくという流れが大切にされています。本授業を行うにあたり、第4学年という具体的なゴールを示そうかとも考えました。しかし、第6学年とは異なり、第4学年という学年が、その役割や第3学年からの変化が捉えにくい段階である印象がありました。そのため、本時は敢えて具体的なゴールは示さずに授業を行うこととしました。具体的なゴールを示さずとも、にじのこに伸びしろがあると捉えている時点で何かしらの理想とする姿を子どもはイメージできていると考えました。



○ 本時のねらい

仲間との話し合いを基に、学級のよさをさらに伸ばすために必要なことを考え、自分にできることを意思決定することができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり ●研1 ■研2
<p>1 本時のめあてを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年間で見付けたにじのこ学級のよさ、頑張り（事前アンケートより）</li> <li>○ にじのこがどれくらい伸びたか（絵で描く）</li> </ul> <hr/> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">元のにじのこ                      子どもの描くにじのこ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあて           <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             もっと3年3組のにじのこを伸ばすために、できることを考えよう。           </div> </li> </ul> <p>2 学級のよさをさらに伸ばすために必要なことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伸ばすために必要な視点           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まだできていないことをできるように頑張る</li> <li>・ できていることを続ける</li> </ul> </li> <li>○ グループでの話し合い→全体で共有           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人の考えや前の授業とつなげること、比べて考えることは続けていきたいよね。」</li> <li>・ 「無言の場を守ることは、できている人とそうではない人があるよね。」                      等</li> </ul> </li> </ul> <p>3 課題（もっと頑張れること）に対して、できることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループでの話し合い           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「3年生の学習を完璧にするために、自学で苦手な部分を復習するようになったらどうだろう。」</li> <li>・ 「無言の場では、みんながジェスチャーで伝え合うようにもう一回意識しよう。」                      等</li> </ul> </li> <li>○ 全体での発表</li> </ul> <p>4 学級のよさをさらに伸ばすために自分にできることを考え、実践への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ このまま続けていきたいこと           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「明るく笑顔いっぱい、仲間に優しくできたところは続けていきたいな。」</li> </ul> </li> <li>○ もっと頑張りたいこと           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「みんなとの話し合いで出てきた、3年生の学習を完璧にするために、自学で復習を頑張るぞ。」                      等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前アンケートの結果を提示することで、1年間の成長をふりかえり、実感できるようにする。</li> <li>● 学級のシンボル「にじのこ」になぞらえ、この1年間で3年3組のにじのこがどれくらい伸びたかを問う。そののにじのこを全員に絵で描かせることで、一人一人が学級の現状をふりかえることができるようにする。</li> <li>● 数名の子どもを指名し自分が描いたにじのこを黒板に描かせ理由を問うことで、一人一人の感じ方の違いを視覚的に捉えさせるとともに、まだ成長の余地があると感じる仲間がいることを認識させ、本時のめあてへとつなぐことができるようにする。</li> <li>○ 「にじのこをさらに伸ばすためには、何が必要かな。」と問うことで、「課題を改善していくこと」「できていることを続ける」の2つの視点が必要であることを子どもから引き出せるようにする。</li> <li>○ 個人の考えを付箋紙に書かせた後、グループで整理しながら話をさせることで、「続けていきたいこと」や「もっと頑張れること（課題）」を分類・整理し、この後話し合うべきことを焦点化することができるようにする。                      [分類する]</li> <li>○ ここまで頑張ってきたことや、続けていきたいよさを称賛したうえで、さらに学級のよさを伸ばすために、もっと頑張れることに絞って話し合いをさせるようにする。</li> <li>○ 全体で共有した課題について、グループで話し合わせた後、全体で話し合うようにすることで、より多くの解決策を生み出すことができるようにする。</li> <li>● 全体で話し合ったことなかから、「続けていきたいこと」「頑張りたいこと」を選び、実践カードに記入させる。数ある解決策のなかから自分に合ったものを選択する過程において、一人一人が自分のよさや課題をふりかえることができると考える。</li> <li>■ 「4年生に向けて伸びよ！にじのこたち！」のコーナーを設置し、目標を達成したら、にじのこシールを貼っていくことを伝えることで、子どもが意欲をもつことができるようにする。</li> </ul>

○ 本時の評価規準

学級のよさをさらに伸ばすための課題に気づき、必要な取組について話し合い、自分に合った方法を意思決定している。  
 （思考・判断・表現）【観察・カード】